

令和7年1月30日
教頭

令和6年度北海道長万部高等学校生徒・保護者アンケート分析

1 生徒アンケート分析について（※学年別集計は未集計）

- ◎ 「1 学習意欲の高まり」及び「2 学力向上」の項目においては、昨年度同様に高い水準を維持している。
- ◎ 「3 資格取得及び講習」の項目においては、高い水準ではないが昨年度を1.0ポイント増と大きく上回った。検定取得の人数が増加したことや講習（T-baseと個人講習）が要因として考えられる。
※参考 漢検（19名→34名）、英検（22名→30名）、数検（7名→7名）
- ◎ 「4 探究活動」及び「5 ICTの活用」の項目については、昨年度よりポイント減となっているが、高い水準を維持している。
- ◎ 「6 服装頭髪」、「8 相談できる友人や先生」、「9 長万部に入学」、「10 いじめ嫌がらせなし」の項目においては、昨年度よりポイント増となった。「7 コミュニケーション能力」の項目は、昨年度よりポイント減となっているが、高い水準を維持している。人間関係の良さ、本校での生活のしやすさ等、日頃の生徒指導の成果であると分析できる。また、本校の学校軽目標の1つであるウエルビーング（身体的、精神的、社会的に満たされた状態）の向上が図られたと分析できる。

2 保護者アンケート分析について（※学年別集計は未集計）

- 学習指導について、「1 学習意欲の高まり」、「2 学力向上」、「3 探究活動」の項目においては、昨年度より大きくポイント増となった。「4 ICT活用」の項目においては、昨年度よりポイント減となっているが、高い水準を維持している。昨年度の学習指導については、低いポイントであったが、今年度はほとんどの項目においてポイントが上昇している。学習に対する意識が高まり、探究、ICT活用と好循環な相乗効果があると考えられる。教務部をはじめ、各教科等の指導の効果であると分析できる。
※参考 昨年度：研究指定（エビデンスに基づく資質・能力育成事業）
※参考 今年度：授業系研修参加強化
- ◎ 生徒指導について、昨年度すべての項目において高評価であったが、今年度は、すべての項目でポイント増となっており、日頃からの生徒指導の成果と考えられる。
- ◎ 進路指導について、すべての項目でポイント増となっており、日頃からの進路指導の成果と考えられる。
- ◎ 学校との連携について、「10 各家庭への連絡、情報提供」の項目においては、ポイント大きく減、「11 担任、顧問との連携」の項目では、大きくポイント増となっており、保護者等は高校からの情報発信に課題があると考えられていると分析できる。また、定期的な面談等、日頃から保護者等は担任や顧問と情報交換ができていていると考えていると分析できる。
- ◎ 学校生活について、昨年度もすべての項目において高い水準であったが、今年度は、さらに大きくポイント増となっている。日頃からの生徒指導の成果と考えら

れる。学校に対する保護者の満足度は高いと分析できる。

3 改善策について

- 進路講習について、昨年度に引き続き、継続してT-b a s eが実施する長期休業期間中の講習の活用や進路指導部と学年が連携した模擬試験と連動させた進学講習、公務員講習を実施するなど、1学年から希望者を見逃さない指導の充実が必要。
 - 高校から各家庭へ連絡など、情報提供をきめ細やかに行う必要がある。楽メなどのメールでの定期的な発信や、生徒から連絡文章等が確実に保護者等に渡る指導が必要である。
- ※ 改善策はあくまでも一例なので、次年度に向けての改善策について、皆様からも良い案があれば教えていただければと思います。また、アンケート結果については、分掌・学年の反省会議の際に参考としていただければと思います。